

主催：株式会社プロフェッションネットワーク

**提案書実例から学ぶ
「遺産分割における各種リスク」
「税理士ならではの遺言提案」**

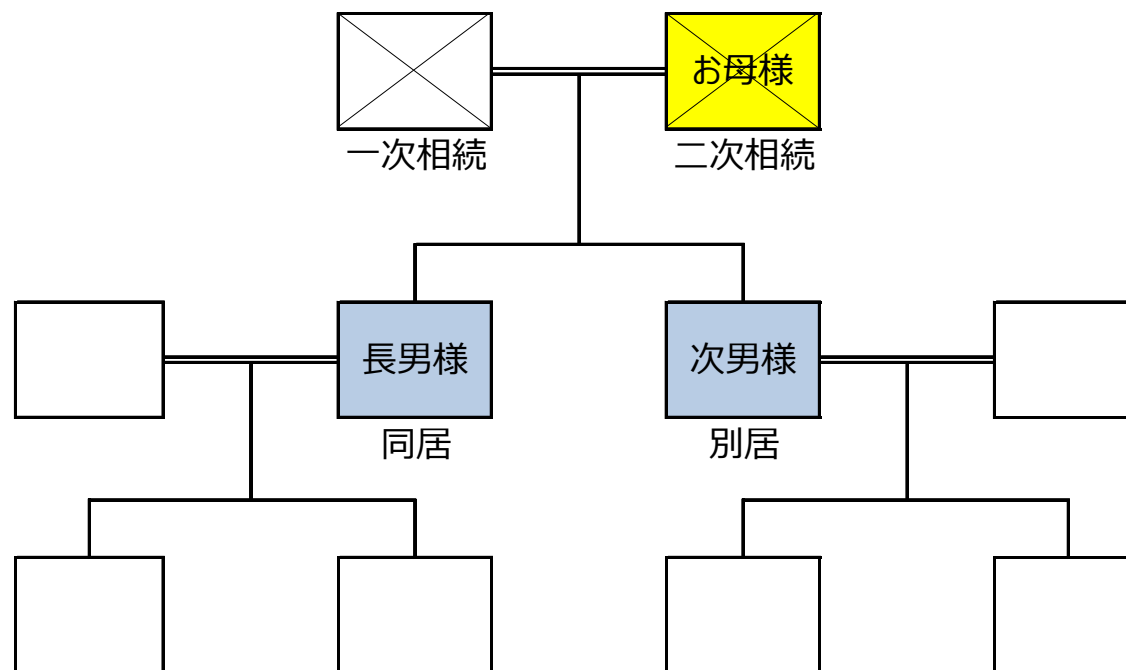
平成29年11月8日（水）

Farbe 税理士法人
ファルベ不動産

税理士法人ファルベ不動産 代表税理士
公認会計士・税理士 木下勇人

提案書実例 ～遺産分割編～

■ 親族関係図



■ ご相談内容確認（長男・次男）

1. 小規模宅地等の特例適用につき、どの土地で適用すればよいか？
2. 遺言はないが、母の気持ちに沿った遺産分割を実行したい
3. 可能な限り節税ができる遺産分割案を提示してほしい
4. 法律的に問題のない遺産分割を実行したい

現状把握（財産額 & 予定取得者）

	概算評価額（小宅前）	取得者	小宅適用
自宅土地	72,450,000	長男	特定居住
Aアパート敷地	21,250,000	長男	貸付
B雑居ビル敷地	124,950,000	次男	貸付
倉庫敷地	35,496,000	長男	貸付
土地計	254,146,000		
自宅建物	35,000,000	長男	
Aアパート	22,400,000	長男	
B雑居ビル	37,800,000	次男	
倉庫	3,500,000	長男	
建物計	98,700,000		

	概算評価額（小宅前）	取得者
金融資産その他計	100,000,000	長男・次男
積極財産計	452,846,000	
Aアパート（甲銀行）	▲45,400,000	長男
B雑居ビル（乙銀行）	▲180,000,000	次男
債務	▲225,400,000	
差引計	227,446,000	